

唐津の祭り⑥祇園祭と各地のくんちほか(2/4)

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

～1/4からつづく～

■浜崎祇園祭

まむし除けで知られる浜崎・諏訪神社境内に祭られている祇園社の祭礼。
宝暦3（1753）年、浜崎の浜区の網元・中村屋久兵衛が京都の八坂神社を

参拝した岐路、博多で櫛田神社の山笠を見物し、地元の病疫退散と五穀豊穰を祈願して始まった。

漁業（浜区）、農業（西区）、商業（東区）の人々が、それぞれ大漁、豊作、繁盛を祈願して3基の山笠を作り、旧暦6月15日前後に市中を曳き回したのが起源といわれる。

山笠は高さ15m、重さ約5トンで、九州でも最大級を誇る。台車の上に5本の柱を立て、「槍出し」と呼ばれる腕木を大きく張り出し、そこを館や人形で飾る。飾り物は毎年変わり、表を伝統的な時代物、見送りは時代を流行したものを題材にする。

山囃子は、笛・太鼓・鉦に三味線が加わり、10曲以上が継承されている。三台の山笠が町中心部を巡行後、宵闇に諏訪神社前で、無数の提燈に灯りを点した華麗な山笠を、右回りに何回も旋回させる「大まぎり」。1台に

つ

き約150人の締め込み姿の男衆が出すエネルギーは、暑い夜空をさらに加熱する。

【場所】唐津市浜玉町浜崎 諏訪神社周辺

【開催期間】7月第3土曜・日曜日

【問い合わせ】唐津観光協会浜玉支所 0955（56）6937

～3/4へつづく～



浜玉祇園祭

（唐津市フォトライブラリーより）

◎引用・参考文献（出典）

◆唐津市フォトライブラリー

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

1